

## 2026（令和8）年度 事業計画

国内たばこ事業を取り巻く環境は、喫煙規制、増税動向、加熱式たばこ市場の競争激化等、厳しい状況が続いており、葉たばこ生産については、高齢化・担い手不足等により、耕作農家数・面積の漸減が続いている。

このような状況を踏まえ、2026（R8）年度の助成事業については、耕作農家の経営安定に資するべく、専用施設機械の導入支援や地域における雇用と労働力確保支援をはじめ、産地課題に応じた効果的な事業を関係機関と連携して実施するとともに、耕作組合の体質強化に向けた支援も引き続き実施していく。

また、講座・研修事業については、ひのくにふれあいセンターを拠点に、集合研修の他、オンライン講座や動画配信等、コンテンツの多様化と利便性の向上を図りながら、時代のニーズに即した内容へと見直しを図っていく。

試験事業については、新たな資器材に関する適切な試験実施を通じて有用情報の発信を行いながら、耕作農家が安心して資器材を調達できるよう努めていく。

これらの取り組みを通じて、持続可能な葉たばこ生産の実現に向けた事業を展開していく。

### 1. 講座・研修事業

#### （1）耕作農家研修

##### ① 基礎講座

##### ② 特別講座

#### （2）リーダー養成研修

### 2. 助成事業

#### （1）たばこ作近代化促進事業

#### （2）農業後継者育成活動事業

#### （3）技術指導事業

(4) 広報紙発行事業

(5) 組合運営合理化対策事業

3. 研究調査事業

(1) 委託研究・調査に対する助成

4. 試験事業

(1) 新器材試験

(2) 農薬の登録状況調査

5. 『ふれあいセンター』運営事業（収益事業）